

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

時刻・カレンダーモード

曜日 月 日

(曜日の見方)

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

◎ボタン (ライト点灯)

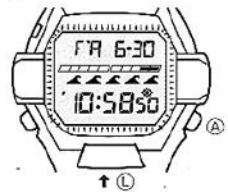
★ELバックライトON/OFF切り替え
◎ボタンを1~2秒間押し続けるごとに確認音が鳴り、ELバックライトのON(点灯)/OFFが切り替わります。
※「★ELバックライトの自動発光」参照
★グラフ表示…いずれも現在時刻に連動して点灯/不灯をくりかえします。

■表示照明用ELバックライトについて

どのモードのときでも、◎ボタンを1回押しすと文字板が約2秒間発光します。

※発光しているときにもう一度◎ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。

※ライトOFF(点灯OFF)でも◎ボタンを押すと発光します。



★ELバックライトの自動発光
ライトON(点灯)のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。
※電子音報音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

<ELバックライトの発光に関するご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。これは故障ではありません。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが発光する際の振動音であり、異常ではありません。

◎ (※各機能を使用した後に◎ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。)

アラームモード

月・日が指定できるアラーム時刻セット、および毎正時の時報セットができます。

モードマーク 月 日

アラーム時刻

アラーム・時報ON/OFF

◎ボタン(ライト点灯)

タイマーモード

1秒単位で、最大24時間までの減算計測ができます。

(計測値) モードマーク 現在時刻

タイマー時間

(スタート/ストップ)

◎ボタン(ライト点灯)

ストップウォッチモード

1/100秒単位(1時間を超えると1秒単位)で23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。

(スプリット)モードマーク 現在時刻

計測値

(スタート/ストップ)

◎ボタン(ライト点灯)

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方 …30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

◎ボタンを押します

→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、

◎ボタンを押します

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、「00」秒になります。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3) 秒合わせが終わりましたら、

◎ボタンを押して点滅を止めます



※秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

◎ボタンを押します

→「年」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

◎ボタンを押します

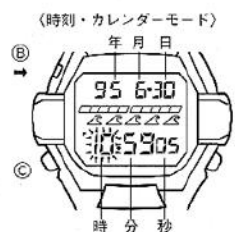
◎ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



★12/24時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、◎ボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後「P」)と24時間制表示(24H)とが切り替わります。

上記(2)~(3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

※「年」は1995~2039年までセットできます。

なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4) セットが終わりましたら、

◎ボタンを押して点滅を止めます

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに(C)ボタンを1回押すと、アラームモードになります。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム・時報を鳴らすには

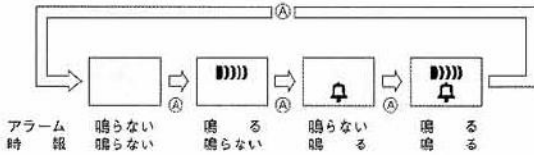
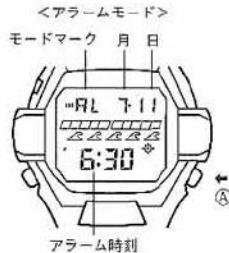
アラームモードのときに、

(A)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると“mm”が点灯し、自動的にアラームONとなります。

(「■アラーム時刻のセット」参照)



■アラーム・時報の報知方法

- アラームONのとき
セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。
- 時報ONのとき
毎正時(00分)になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。

※このとき、いずれの場合でも、ELバックライトON(※点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



■鳴っている電子音を止めるには

アラーム(時報)音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、(A)(B)(C)Lボタンのうち、いずれか1つを押します。

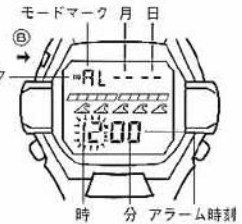
■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのときに、

(B)ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

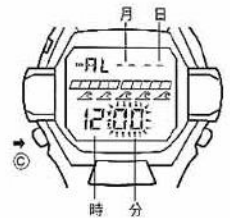
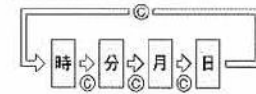
※このとき“mm”が点灯し、アラームONとなります。



(2)セット箇所を選ぶ

(C)ボタンを押します

(C)ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

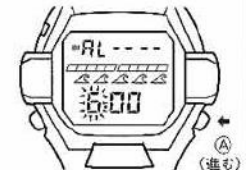


(3)点滅箇所のセット

(A)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。

※押し続けると早く進みます。



- 「時」のセットのとき、午前/午後“P”にご注意ください。
- 時刻を24時間制“24H”にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
- 「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らしたいとき	⇒ 「時・分」のみセット
1か月間毎日鳴らしたいとき	⇒ 「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らしたいとき	⇒ 「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らしたいとき	⇒ 「月・日・時・分」すべてセット

(4)セット後、点滅を止めるには、

(B)ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに(C)ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

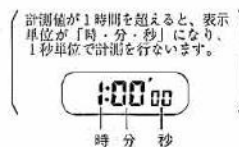
ストップウォッチモードのときに、

(A)ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

★計測中に(B)ボタンを押すと、スプリット計測となります。もう一度(B)ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★計測終了後(B)ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※(A)・(B)ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



●通常計測

(A) → (A) → (B)

スタート ストップ リセット

※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(B)ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

(A) → (B) → (B) → (A) → (B)

スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

●1・2層同時計測

(A) → (B) → (A) → (B) → (B)

スタート 1層がゴール 2層がゴール 2層タイム表示 リセット

(1層タイム表示)

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに③ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

■タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

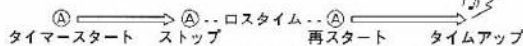
→ 減算計測は1秒単位で行ないます。

★ ②ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



★ロスタイムがあるときは

減算計測中、①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

* オートリブートタイマーで、タイマー時間が90秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

※このとき、ELバックライトON (※点灯) としておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



■タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

●リブートタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリブートタイマー (自動繰り返し計測) ("AUTO" 点灯)

タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

★タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

①ボタンを押します

→ ①ボタンを押すごとに "AUTO" が点灯/不点灯を繰り返します。
"AUTO" が不点灯のときはリブートタイマー、"AUTO" が点灯しているときはオートリブートタイマーとなります。



■鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報音の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、タイマーモードのときに③④⑤⑥ボタンのうち、いずれか1つを押します。

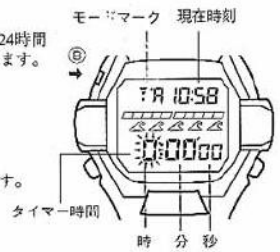
■タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒 (0:00:01)」から「24時間 (0:00:00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

③ボタンを押します

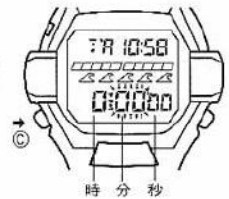
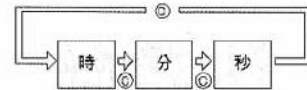
→ タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

④ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

⑤ボタンを押します

→ ⑤ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。

※押し続けると早く進みます。



★表示が点滅しているときに⑥ボタンを押すと、タイマー方法 (リブートタイマー/オートリブートタイマー) が選べます。(詳しくは左記「●タイマー方法を選ぶ」参照)



(4) セット後、点滅を止めるには

⑥ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。